

(19) 日本国特許庁(JP)

(12) 登録実用新案公報(U)

(11) 実用新案登録番号

実用新案登録第3201732号  
(U3201732)

(45) 発行日 平成27年12月24日 (2015.12.24)

(24) 登録日 平成27年12月2日 (2015.12.2)

(51) Int.Cl.			F I		
A 4 1 D	3/00	(2006.01)	A 4 1 D	3/00	N
A 4 1 D	1/02	(2006.01)	A 4 1 D	1/02	A
A 4 1 D	3/02	(2006.01)	A 4 1 D	3/02	A

評価書の請求 未請求 請求項の数 4 O L (全 10 頁)

(21) 出願番号 実願2015-5174 (U2015-5174)  
(22) 出願日 平成27年10月13日 (2015.10.13)

(73) 実用新案権者 515280436  
株式会社前田修デザインスタジオ  
東京都渋谷区上原1丁目24番3号  
(74) 代理人 100076831  
弁理士 伊藤 捷雄  
(72) 考案者 前田 修  
東京都狛江市中和泉2丁目26番7号

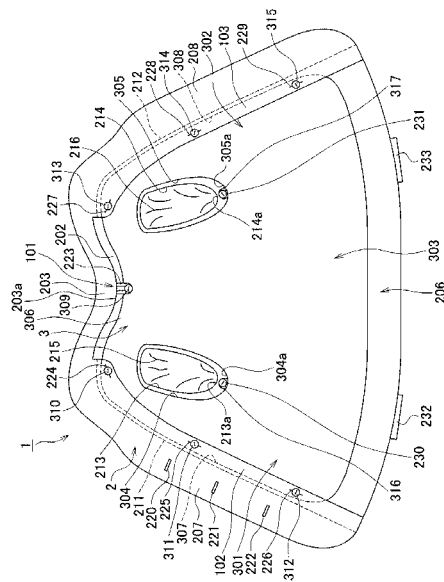
(54) 【考案の名称】 ライナー付き女性用ジャケット

(57) 【要約】 (修正有)

【課題】ジャケット全体の軽量化を図ると共に、ライナーの着脱操作を容易とし、コストダウンも図り得るライナー付き女性用ジャケットを提供する。

【解決手段】ジャケット本体2とライナー3の間の着脱手段101を、ジャケット本体に設けた左右の各取付布部102、103の上下段部を含む適宜個所に設けた複数の見返しボタン穴224~229と、これ等の各見返しボタン穴に着脱可能に嵌め込むべくライナーの左右のライナー見返し301、302に設けた複数の見返しボタン310~315と、ジャケット本体の左右の腋下部213a、214aの内側に取り付けられた腋下ボタン230、231と、この左右の腋下ボタンを着脱自在に取り付けるライナーの左右の腋下部304a、305aに取り付けられた腋下ボタンループ316、317と、ジャケット本体の襟下中央部に設けた襟下ボタンループ223と、ライナーの上縁の中央部に設けた襟下ボタンループへ着脱可能に取り付けられる襟下ボタン309とで構成する。

【選択図】 図3



**【実用新案登録請求の範囲】****【請求項 1】**

ジャケット本体に対し着脱手段を介してライナーを着脱可能に取り付けることのできるライナー付き女性用ジャケットであって、前記ライナーはそれ自身の前側を閉じる係合手段を有しない構成とすると共に、その左右幅を前記ライナー自身の左右のライナー見返しの左右の縁部が前記ジャケット本体の左右の各見返しの左右の幅方向に上下方向に渡って設けた帯状の取付布部の中に挟み込まれる幅とし、前記着脱手段を、前記左右の各取付布部の上下段部を含む適宜個所に設けた複数の見返しボタン穴と、これ等の各見返しボタン穴に着脱可能に嵌め込むべく前記ライナーの左右のライナー見返しに設けた複数の見返しボタンと、前記ジャケット本体の左右の腋下部の内側に取り付けられた腋下ボタンと、前記ライナーの左右の腋下部に取り付けられた前記腋下ボタンを着脱可能に取り付ける腋下ボタンループと、前記ジャケット本体の襟下中央部に設けた襟下ボタンループと、前記ライナーの上縁の中央部に設けた前記襟下ボタンループに着脱可能に取り付ける襟下ボタンと、で構成したことを特徴とする、ライナー付き女性用ジャケット。

10

**【請求項 2】**

ジャケット本体に対し着脱手段を介してライナーを着脱可能に取り付けることのできるライナー付き女性用ジャケットであって、前記ライナーはそれ自身の前側を閉じる係合手段を有しない構成とすると共に、その左右幅を前記ライナー自身の左右のライナー見返しの左右の縁部が前記ジャケット本体の左右の各見返しの左右の幅方向に上下方向に渡って設けた帯状の取付布部の中に挟み込まれる幅とし、前記着脱手段を、前記左右の各取付布部の上下段部を含む適宜個所に設けた複数の見返しボタン穴と、これ等の各見返しボタン穴に着脱可能に嵌め込むべく前記ライナーの左右のライナー見返しに設けた複数の見返しボタンと、前記ジャケット本体の左右の腋下部の内側に取り付けられた腋下ボタンループと、前記ライナーの左右の腋下部に取り付けられた前記腋下ボタンループへ着脱可能に取り付ける腋下ボタンと、前記ジャケット本体の襟下中央部に設けた襟下ボタンループと、前記ライナーの上縁の中央部に設けた前記襟下ボタンループへ着脱可能に取り付ける襟下ボタンと、で構成したことを特徴とする、ライナー付き女性用ジャケット。

20

**【請求項 3】**

前記着脱手段を構成するボタンの取付箇所は、前記ライナーの左右のライナー見返しのそれぞれ 3 箇所ずつと、前記ジャケット本体の両腋下の 2 箇所と、前記ライナーの上縁の中央部の 1 箇所の合計 9 箇所であることを特徴とする、請求項 1 に記載のライナー付き女性用ジャケット。

30

**【請求項 4】**

前記ジャケット本体に取り付けられる襟下ボタンループは、前記ジャケット本体の吊下げ用ループを兼ねることを特徴とする、請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項に記載のライナー付き女性用ジャケット。

**【考案の詳細な説明】****【技術分野】****【0001】**

本考案は、内側に簡単な構成の着脱手段を介してライナーを着脱可能に取り付けることのできるライナー付き女性用ジャケットに関する。

40

**【背景技術】****【0002】**

寒い時の冠婚葬祭時、或は外出時におけるちょっとした寒さ対策として、ジャケットの本体の内側にライナーを着脱可能に取り付けることのできるジャケットが下記特許文献 1 と 2 に記載されているように公知である。

**【0003】**

この特許文献 1 に記載のジャケットは、学生服に関するものであって、ライナーを学生服の中にボタンと、ファスナーから成る着脱手段を用いて着脱可能に取り付けたり、ライナーの前身頃同士を同じくファスナーで開閉するものであったため、着脱が煩雑である上

50

に、着脱手段が重くなり、これを女性用ジャケットに応用すると、肩が凝ってしまうという問題点があった。

【0004】

また、特許文献2に記載の上衣(ジャケット)は、ライナーが後見頃を除去することによって、左右の前身頃のみを2分割されており、この左右の前身頃をそれぞれ上衣本体へボタンを用いて着脱するものであるが、ライナーが左右の前身頃に分離されているため、着脱に時間を要する上に、後見頃がないので、寒さ対策としては不十分であるという問題点があった。

【先行技術文献】

【特許文献】

【0005】

【特許文献1】公開実用昭和57-34530号公報

【特許文献2】公開実用昭和61-86406号公報

【考案の概要】

【考案が解決しようとする課題】

【0006】

そこで、この考案の目的は、ジャケット本体と後見頃のあるライナーとの着脱手段を、ファスナー(ジッパー、チャック)ではなくボタンとすることによりジャケットの軽量化を図ると共に、ボタンの数及び取付位置を適切に選定することによって、ライナーの着脱操作の面倒さを軽減し、ジャケット着用中に当該ジャケットが突っ張ったり、一部が引きつって外観が損なわれたりすることがない上に、コストダウンも図り得るライナー付き女性用ジャケットを提供せんとする。

【課題を解決するための手段】

【0007】

上記課題を解決するために、請求項1考案は、ジャケット本体に対し着脱手段を介してライナーを着脱可能に取り付けることのできるライナー付き女性用ジャケットであって、前記ライナーはそれ自身の前側を閉じる係合手段を有しない構成とすると共に、その左右幅を前記ライナー自身の左右のライナー見返しの左右の縁部が前記ジャケット本体の左右の各見返しの左右の幅方向に上下方向に渡って設けた帯状の取付布部の中に挟み込まれる幅とし、前記着脱手段を、前記左右の各取付布部の上下段部を含む適宜個所に設けた複数の見返しボタン穴と、これ等の各見返しボタン穴に着脱可能に嵌め込むべく前記ライナーの左右のライナー見返しに設けた複数の見返しボタンと、前記ジャケット本体の左右の腋下部の内側に取り付けられた腋下部ボタンと、前記ライナーの左右の腋下部に取り付けられた前記腋下部ボタンを着脱可能に取り付ける腋下部ボタンループと、前記ジャケット本体の襟下中央部に設けた襟下ボタンループと、前記ライナーの上縁の中央部に設けた前記襟下ボタンループに着脱可能に取り付ける襟下ボタンと、で構成したことを特徴とする。

【0008】

また、請求項2考案は、ジャケット本体に対し着脱手段を介してライナーを着脱可能に取り付けることのできるライナー付き女性用ジャケットであって、前記ライナーはそれ自身の前側を閉じる係合手段を有しない構成とすると共に、その左右幅を前記ライナー自身の左右のライナー見返しの左右の縁部が前記ジャケット本体の左右の各見返しの左右の幅方向に上下方向に渡って設けた帯状の取付布部の中に挟み込まれる幅とし、前記着脱手段を、前記左右の各取付布部の上下段部を含む適宜個所に設けた複数の見返しボタン穴と、これ等の各見返しボタン穴に着脱可能に嵌め込むべく前記ライナーの左右のライナー見返しに設けた複数の見返しボタンと、前記ジャケット本体の左右の腋下部の内側に取り付けられた腋下部ボタンループと、前記ライナーの左右の腋下部に取り付けられた前記腋下部ボタンループへ着脱可能に取り付ける腋下部ボタンと、前記ジャケット本体の襟下中央部に設けた襟下ボタンループと、前記ライナーの上縁の中央部に設けた前記襟下ボタンループへ着脱可能に取り付ける襟下ボタンと、で構成したことを特徴とする。

【0009】

10

20

30

40

50

そして、請求項 3 考案は、請求項 1 考案において、前記着脱手段を構成するボタンの取付箇所は、前記ライナーの左右のライナー見返しのそれぞれ 3 箇所ずつと、前記ジャケット本体の両腋下の 2 箇所と、前記ライナーの上縁の中央部の 1 箇所の合計 9 箇所であることを特徴とする。

【0010】

さらに、請求項 4 考案は、請求項 1 又は 2 のいずれか 1 項の考案において、前記ジャケット本体に取り付けられる襟下ボタンループは、前記ジャケット本体の吊下げ用ループを兼ねることを特徴とする。

【考案の効果】

【0011】

請求項 1 考案によれば、ライナーはジャケット本体の内側に簡単な着脱手段によって容易に着脱でき、かつ着脱手段が軽量なので、ライナーを取り付けてもその重量を感じることはない。とくに冠婚葬祭の場においては、式の最中に礼服の上に何かを羽織るといっわけにはいかない場合もあり、本考案のように簡単にライナーを着脱できれば、便利有用である。

【0012】

請求項 2 考案によれば、腋下ボタンと腋下ボタンループによる着脱手段をジャケット本体側とライナー側とで逆にするだけであるが、ジャケット本体単独で着用する場合には、腋下ボタンが肌に当たり、違和感を生じさせる恐れが少ないという効果を奏し得る。

【0013】

請求項 3 考案によれば、襟下ボタンを取り付ける襟下ボタンループを、ジャケット本体を吊下げる吊下げ用ループを兼用することができ、コストダウンを図ることができる。

【0014】

請求項 4 考案によれば、ボタンの数が全部で 9 個と少ないので、着脱操作がし易く、且つ軽量となるという効果を奏し得る。

【図面の簡単な説明】

【0015】

【図 1】本考案に係るライナー付き女性用ジャケットの一実施例を示す正面図である。

【図 2】図 1 に示したライナー付き女性用ジャケットのジャケット本体とライナーとを分離した状態を示す斜視図である。

【図 3】図 1 に示したライナー付き女性用ジャケットにおいて、ライナーを取り付けた状態でジャケット本体の前面を開いた状態を示す内面展開図である。

【図 4】図 3 と同様の展開状態において、ライナーを取り外した状態を示すジャケット本体の内面展開図である。

【図 5】ライナーの内面展開図である。

【考案を実施するための形態】

【0016】

以下、図面を参照しつつ本考案に係るライナー付き女性用ジャケットの好適な実施例について説明する。尚、各図中における左右関係については、着用者本位で記載してあるため、着用者にとっての右側は図面では左側に、着用者にとっての左側は図面では右側に示して描いてある。

【実施例】

【0017】

図 1 ~ 図 5 に示した本考案に係るライナー付き女性用ジャケット 1 は、女性用のフォーマルジャケットを一例として示してあるが、女性用のスーツ、ブレザー、ハーフコート、ジャンパー等々に広く応用できるものである。

【0018】

図示したライナー付き女性用ジャケット 1 は、ジャケット本体 2 と、このジャケット本体 2 に対し着脱手段 101 を介して着脱可能に取り付けることのできるライナー 3 とで構成されている。ライナー 3 は、後見頃と左右の前身頃が一体に形成されると共に、ライナ

10

20

30

40

50

ー 3 自身の前側を閉じる係合手段を有しない構成とすると共に、その左右幅を前記ライナー 3 自身の左右のライナー右見返し 3 0 1 とライナー左見返し 3 0 2 ( 左右の前身頃としてもよい。 ) の右縁部 3 0 7 と左縁部 3 0 8 が前記ジャケット本体 2 の左右の各右見返し 2 0 7 と左見返し 2 0 8 の左右の幅方向に上下方向に渡って設けた帯状の右取付布部 1 0 2 と左取付布部 1 0 3 の中に挟み込まれる幅としてある。

【 0 0 1 9 】

着脱手段 1 0 1 は、左右の各右取付布部 1 0 2 と左取付布部 1 0 3 の上下段部を含む適宜個所に設けた複数の右上段見返しボタン穴 2 2 4、右中段見返しボタン穴 2 2 5、右下段見返しボタン穴 2 2 6 及び左上段見返しボタン穴 2 2 7、左中段見返しボタン穴 2 2 8、左下段見返しボタン穴 2 2 9 と、これ等の右上段見返しボタン穴 2 2 4、右中段見返しボタン穴 2 2 5、右下段見返しボタン穴 2 2 6 及び左上段見返しボタン穴 2 2 7、左中段見返しボタン穴 2 2 8、左下段見返しボタン穴 2 2 9 に着脱可能に嵌め込むべく前記ライナー 3 の左右のライナー右見返し 3 0 1 とライナー左見返し 3 0 2 に設けた複数の右上段見返しボタン 3 1 0、右中段見返しボタン 3 1 1、右下段見返しボタン 3 1 2 及び左上段見返しボタン 3 1 3、左中段見返しボタン 3 1 4、左下段見返しボタン 3 1 5 と、前記ジャケット本体 2 の右ジャケット腋下部 2 1 3 a と左ジャケット腋下部 2 1 4 a の内側に取り付けられた右腋下ボタン 2 3 0 及び左脇下ボタン 2 3 1 と、前記ライナー 3 の右ライナー腋下部 3 0 4 a と左ライナー腋下部 3 0 5 a に取り付けられた前記右腋下ボタン 2 3 0 及び左脇下ボタン 2 3 1 を着脱可能に取り付ける右腋下ボタンループ 3 1 6 及び左腋下ボタンループ 3 1 7 と、前記ジャケット本体 2 の襟下中央部に設けた襟下ボタンループ 2 2 3 と、前記ライナー 3 の上縁の中央部に設けた前記襟下ボタンループ 2 2 3 に着脱可能に取り付ける襟下ボタン 3 0 9 とで構成するものである。

10

20

【 0 0 2 0 】

ジャケット本体 2 は、図 1、2、4 等に示すように、表地 2 0 1、裏地 2 0 2、襟 2 0 3、本体右前見頃 2 0 4、本体左前見頃 2 0 5、本体後見頃 2 0 6、本体右アームホール 2 1 3、本体左アームホール 2 1 4、右袖裏地 2 1 5、左袖裏地 2 1 6、第 1 前ボタン 2 1 7、第 2 前ボタン 2 1 8、第 3 前ボタン 2 1 9、第 1 前ボタン穴 2 2 0、第 2 前ボタン穴 2 2 1、第 3 前ボタン穴 2 2 2、右袖 2 3 2、左袖 2 3 3、等々から構成される。これらの構成要素は、通常的女性用ジャケットの場合と同様であるので、具体的な説明は省略する。

30

【 0 0 2 1 】

ジャケット本体 2 における本体右前見頃 2 0 4 と本体左前見頃 2 0 5 とは、着用時に重ねられ、前記第 1 前ボタン 2 1 7、第 2 前ボタン 2 1 8、第 3 前ボタン 2 1 9 ( 図 1 参照 ) を、それぞれ第 1 前ボタン穴 2 2 0、第 2 前ボタン穴 2 2 1、第 3 前ボタン穴 2 2 2 に嵌め入れることによって、ジャケット本体 2 の前を閉じることができる。

【 0 0 2 2 】

前記本体右見頃 2 0 4 の裏側の右見返し 2 0 7 ( 図 3、4 参照 ) は、表地 2 0 1 と同じ生地で襟 2 0 3 から連続するように幅広に作製され、右重ね部縫い目 2 1 1 によって裏地 2 0 2 と縫い付けられ、この右重ね部縫い目 2 1 1 よりも内側に裏地 2 0 2 から浮いた状態で設けられたところのジャケット本体 2 の下端部から右鎖骨前の部分まで上下方向に伸びる帯状の右取付布部 1 0 2 が設けられている。この右取付布部 1 0 2 に右上段見返しボタン穴 2 2 4、右中段見返しボタン穴 2 2 5 及び右下段見返しボタン穴 2 2 6 が設けられ、裏地 2 0 2 と右取付布部 1 0 2 との間に後述するライナー 3 の右縁部 3 0 7 が挿入できるようにになっている ( 図 3 参照 ) 。

40

【 0 0 2 3 】

同様に、前記本体左見頃 2 0 5 の裏側の左見返し 2 0 8 ( 図 3、4 参照 ) は、表地 2 0 1 と同じ生地で襟 2 0 3 から連続するように幅広に作製され、左重ね部縫い目 2 1 2 によって裏地 2 0 2 と縫い付けられ、この左重ね部縫い目 2 1 2 よりも内側に裏地 2 0 2 から浮いた状態で設けられたところのジャケット本体 2 の下端部から左鎖骨前の部分まで上下方向に伸びる帯状の左取付布部 1 0 3 が設けられている。この左取付布部 1 0 3 に左上段

50

見返しボタン穴 2 2 7、左中段見返しボタン穴 2 2 8 及び左下段見返しボタン穴 2 2 9 が設けられ、裏地 2 0 2 と左取付布部 1 0 3 との間に後述するライナー 3 の左縁部 3 0 8 が挿入できるようになっている（図 3 参照）。

【 0 0 2 4 】

襟下ボタンループ 2 2 3 は、ジャケット本体 2 の内面側において、襟 2 0 3 の下の位置で裏地 2 0 2 から浮き上がる状態に取り付けられ、後述するライナー 3 の襟下ボタン 3 0 9 を掛け外すことができるようになっている（図 3 参照）。

【 0 0 2 5 】

本体右アームホール 2 1 3 の下縁近くには右腋下ボタン 2 3 0 が取り付けられ、同様に、本体左アームホール 2 1 4 の下縁近くには左腋下ボタン 2 3 1 が取り付けられ、これらのボタンは後述するライナー 3 の右腋下ボタンループ 3 1 6 と左腋下ボタンループ 3 1 7 にそれぞれ掛け外すことができるようになっている（図 3 参照）。

10

【 0 0 2 6 】

次に、前記ライナー 3 は、図 5 等に示すように、ライナー右見返し 3 0 1、ライナー左見返し 3 0 2、ライナー後見頃 3 0 3、ライナー右アームホール 3 0 4、ライナー左アームホール 3 0 5、等々から構成される。これらの構成要素は、通常のジャケット用ライナーの場合と同様であるので、具体的な説明は省略する。ライナー 3 の大きさは、図 4 に示したように、上下方向の丈は上端部がジャケット本体 2 の襟下 2 0 3 a からジャケット本体の下端縁のやや上部に至るまでの丈を有し、左右の幅は、同じく図 4 に示したように、その右縁部 3 0 7 と左縁部 3 0 8 が右取付布部 1 0 2 と左取付布部 1 0 3 と裏地 2 0 2 との間に挟み込まれる位置までの幅を有している。また、ライナー 3 は、左右のライナー右見返し 3 0 1 とライナー左見返し 3 0 2 を閉じ合せた際に互いに係合させるボタンやファスナーなどの係合手段を有しない構成である。

20

【 0 0 2 7 】

ライナー 3 の上縁部 3 0 6 には、その中央に襟下ボタン 3 0 9 が取り付けられ、ジャケット本体 2 側の右取付布部 1 0 2 と左取付布部 1 0 3 の着用者の左右の鎖骨にほぼ臨む位置に右上段見返しボタン 3 1 0 と左上段見返しボタン 3 1 3 とがそれぞれ取り付けられる。

【 0 0 2 8 】

ライナー 3 の右側のライナー右見返し 3 0 1 と左側のライナー左見返し 3 0 2 のそれぞれ中段部分には、右中段見返しボタン 3 1 1 と左中段見返しボタン 3 1 4 とが取り付けられ、右側のライナー右見返し 3 0 1 と左側のライナー左見返し 3 0 2 のそれぞれ下段部分には、右下段見返しボタン 3 1 2 と左下段見返しボタン 3 1 5 とが取り付けられる。

30

【 0 0 2 9 】

ライナー右アームホール 3 0 4 の下縁近くには右腋下ボタンループ 3 1 6 が取り付けられ、同様に、ライナー左アームホール 3 0 5 の下縁近くには左腋下ボタンループ 3 1 7 が取り付けられる。

【 0 0 3 0 】

以上の構成において、ジャケット本体 2 とライナー 3 とは、9 個のボタン、即ち、ライナー 3 の上縁部 3 0 6 における襟下ボタン 3 0 9、ライナー右見返し 3 0 1 に設けた右上段見返しボタン 3 1 0、右中段見返しボタン 3 1 1、右下段見返しボタン 3 1 2、ライナー左見返し 3 0 2 に設けた左上段見返しボタン 3 1 3、左中段見返しボタン 3 1 4、左下段見返しボタン 3 1 5 と、ジャケット本体 2 における前記右腋下ボタン 2 3 0、左腋下ボタン 2 3 1 とによって、互いに着脱可能に取り付けられるようになっている。

40

【 0 0 3 1 】

ボタンの数がこれより多かたり、各ボタンの取付位置が図示した位置と大きく異なっていたりすると、ライナーの着脱作業が面倒となったり、ジャケット本体 2 とライナー 3 との相対的な動きが阻害されて、着用中に突っ張ったり、動作時にジャケット本体 2 の外形が不自然な形に歪んで見えたりするなどの不具合が生じる。逆に、ボタンの数がこれより少ないと、ジャケット本体 2 とライナー 3 との相互間の追従性が不十分になり、一方が

50

他方からめくれ上がったたり、ジャケット本体 2 の表面に大きな波ができたりするなどの不具合が生じる虞がある。

【 0 0 3 2 】

図示した実施例における前記 9 個のボタンの取付位置及びライナー着脱時のそれらのボタンの掛け外し操作について、より具体的に説明する。図 5 に示すように、7 個のボタン、即ち、襟下ボタン 3 0 9、右上段見返しボタン 3 1 0、右中段見返しボタン 3 1 1、右下段見返しボタン 3 1 2、左上段見返しボタン 3 1 3、左中段見返しボタン 3 1 4、左下段見返しボタン 3 1 5 は、すべてライナー 3 の内面側（着用時に人体に臨む側）に取り付けられる。また、図 4 に示すように、残りの 2 個のボタン、即ち、右腋下ボタン 2 3 0 及び左腋下ボタン 2 3 1 は、ジャケット本体 2 の内面側に取り付けられる。

10

【 0 0 3 3 】

これらのボタンのうち、襟下ボタン 3 0 9 は、ライナー 3 の上縁部 3 0 6 の中央位置に取り付けられ、ジャケット本体 2 の襟下ボタンループ 2 2 3 に掛け外しされる。右上段見返しボタン 3 1 0 と左上段見返しボタン 3 1 3 は、前記襟下ボタン 3 0 9 の両側で、着用者の左右の鎖骨にほぼ臨む位置に取り付けられ、ジャケット本体 2 の右上段見返しボタン穴 2 2 4 と左上段見返しボタン穴 2 2 7 にそれぞれ掛け外しされる。

【 0 0 3 4 】

右中段見返しボタン 3 1 1 と右下段見返しボタン 3 1 2 とは、ライナー 3 のライナー右見返し 3 0 1 に沿って取り付けられ、ジャケット本体 2 の右中段見返しボタン穴 2 2 5 及び右下段見返しボタン穴 2 2 6 にそれぞれ掛け外しされる。同様に、左中段見返しボタン 3 1 4 と左下段見返しボタン 3 1 5 とは、ライナー 3 のライナー左見返し 3 0 2 に沿って取り付けられ、ジャケット本体 2 の左中段見返しボタン穴 2 2 8 及び左下段見返しボタン穴 2 2 9 にそれぞれ掛け外しされる。

20

【 0 0 3 5 】

尚、前記右上段見返しボタン穴 2 2 4、右中段見返しボタン穴 2 2 5、及び右下段見返しボタン穴 2 2 6 は、右見返し 2 0 7 の右重ね部縫い目 2 1 1 よりも内方側の領域に設けられている。これらの各見返しボタン穴に、前記右上段見返しボタン 3 1 0、右中段見返しボタン 3 1 1 及び右下段見返しボタン 3 1 2 のボタン掛け作業を行う際には、ライナー 3 の右縁部 3 0 7 をジャケット本体 2 の右見返し 2 0 7 と裏地 2 0 2 との間に差し入れて、各見返しボタン穴へのボタン掛けを行うようにする（図 3 を併せて参照）。

30

【 0 0 3 6 】

同様に、前記左上段見返しボタン穴 2 2 7、左中段見返しボタン穴 2 2 8 及び右下段見返しボタン穴 2 2 9 は、左見返し 2 0 8 の左重ね部縫い目 2 1 2 よりも内方側の領域に設けられている。これらの各見返しボタン穴に、前記左上段見返しボタン 3 1 3、左中段見返しボタン 3 1 4 及び左下段見返しボタン 3 1 5 のボタン掛け作業を行う際には、ライナー 3 の左縁部 3 0 8 をジャケット本体 2 の前記左見返し 2 0 8 と裏地 2 0 2 との間に差し入れて、各ボタン穴へのボタン掛けを行うようにする（図 3 を併せて参照）。

【 0 0 3 7 】

最後に、前記右腋下ボタン 2 3 0 は本体右アームホール 2 1 3 の右ジャケット腋下部 2 1 3 a に取り付けられ、ライナー 3 の右腋下ボタンループ 3 1 6 に掛け外しされる。同様に、左腋下ボタン 2 3 1 は本体左アームホール 2 1 4 の左ジャケット腋下部 2 1 4 a に取り付けられ、ライナー 3 の左腋下ボタンループ 3 1 7 に掛け外しされる（図 3 参照）。尚、ライナー 3 のジャケット本体 2 に対する着脱手順は、上記したものに限定されない。それは任意の箇所から着脱することができる。

40

【 0 0 3 8 】

また、前記の各ボタンと、ボタン穴及びボタンループを、ジャケット本体 2 とライナー 3 のどちら側にそれぞれを取り付けるかは自由であるが、図示した実施例の如く、右腋下ボタン 2 3 0 及び左腋下ボタン 2 3 1 の 2 個だけをジャケット本体 2 側に取り付け、他の 7 個のボタンはすべてライナー 3 側に取り付けることが、前記の如く、ライナー着脱操作の容易さや製造作業の容易さ等の観点から推奨される。さらに、その他の実施例として、

50

図示は省略するが、ジャケット本体 2 側の右腋下ボタン 2 3 0 及び左腋下ボタン 2 3 1 は、これをライナー 3 の左右の腋下部に取り付け、右腋下ボタン 2 3 0 及び左腋下ボタン 2 3 1 の方を、腋下ボタンループとしてジャケット本体 2 の左右の両アームホール 2 1 3 , 2 1 4 の両腋下部に取り付けても良い。また、襟下ボタンループ 2 2 3 は、ジャケット本体 2 の吊下げ用ループを兼ねることができる。

【産業上の利用可能性】

【0039】

本考案は以上の如く構成したため、ジャケット本体とライナーとの着脱手段をボタンとボタン穴、或はループとしたことにより、とくにライナー付き女性用ジャケットの軽量化が可能となると共に、ボタンの数及び取付位置を適切に選定したことによって、ライナーの着脱作業の面倒さを軽減し、ジャケット着用中にジャケット本体が突っ張ったり、一部が引きつって外観が損なわれたりすることがなく、コストダウンも図り得るライナー付き女性用ジャケットとして好適に用いられるものである。

10

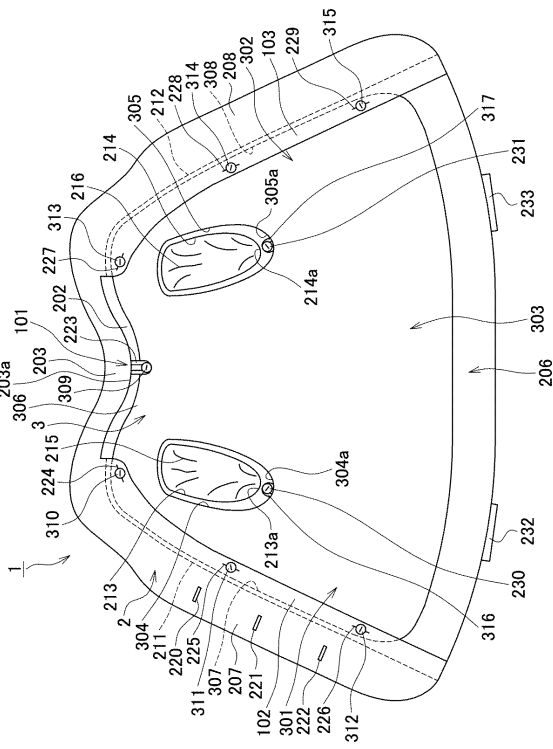
【符号の説明】

【0040】

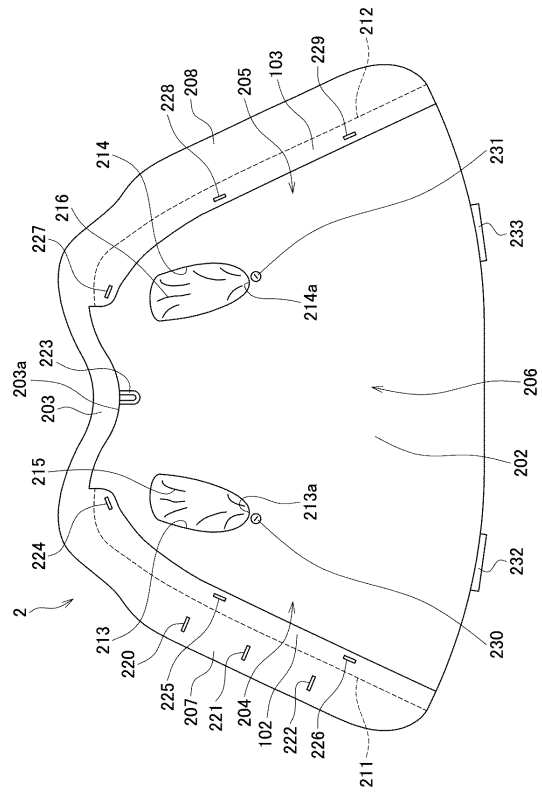
1	ライナー付き女性用ジャケット	
1 0 1	着脱手段	
1 0 2	右取付布部	
1 0 3	左取付布部	
2	ジャケット本体	20
2 0 3	襟	
2 0 3 a	襟下	
2 0 7	右見返し	
2 0 8	左見返し	
2 1 1	右重ね部縫い目	
2 1 2	左重ね部縫い目	
2 1 3 a	右ジャケット腋下部	
2 1 4 a	左ジャケット腋下部	
2 2 3	襟下ボタンループ	
2 2 4	右上段見返しボタン穴	30
2 2 5	右中段見返しボタン穴	
2 2 6	右下段見返しボタン穴	
2 2 7	左上段見返しボタン穴	
2 2 8	左中段見返しボタン穴	
2 2 9	左下段見返しボタン穴	
2 3 0	右腋下ボタン	
2 3 1	左腋下ボタン	
3	ライナー	
3 0 1	ライナー右見返し	
3 0 2	ライナー左見返し	40
3 0 3	ライナー後見頃	
3 0 4	ライナー右アームホール	
3 0 4 a	右ライナー腋下部	
3 0 5	ライナー左アームホール	
3 0 5 a	左ライナー腋下部	
3 0 6	上縁部	
3 0 7	右縁部	
3 0 8	左縁部	
3 0 9	襟下ボタン	
3 1 0	右上段見返しボタン	50



【 図 3 】



【 図 4 】



【 図 5 】

